

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社L I X I L 尾道工場

(2) 事業所の所在地

尾道市長者原二丁目165番地

(3) 業種

弁・同付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度を基準年度とし、平成25年度から平成27年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量												
実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産高（百万円）

単位：t-CO₂/百万円

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))							
	平成24年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
エネルギー起源CO ₂	0.76	0.74	0.79	0.77	0.73							
非エネルギー起源CO ₂		3.0	-4.0	-1.0	4.0	100.0	100.0					
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
温室効果ガス排出量総計	0.76	0.74	0.79	0.77	0.73	100.0	100.0					
エネルギー消費原単位(原油換算k1)	2,166	2,109	2,239	2,208	2,358	100.0	100.0					
実績に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 生産の増加に伴う加工設備の導入によりエネルギー消費量が増加。(エネルギー起源CO₂は生産工程のエネルギーのみで算出していたため、次期3ヵ年計画より工場全体のエネルギーから算出する。) 老朽化設備更新時の効率化の推進と照明設備のLED化計画を展開。 エネルギー使用の効率化を推進するために、省エネ部会を発足させソフト・ハード両面からの省エネ改善活動を前年に引き続き継続。 27年5月から新電力会社より部分供給契約を締結、CO₂排出削減に効果大。 エネルギー消費原単位は原油換算値をそのまま記入していたため、次期計画から原単位で表記する。 											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量を3%削減	(1) 全社エコアクション活動の実施 ・冷暖房温度の適正管理 ・照明の必要最小限化 (2) 旧式コンプレッサーの更新 ・省エネタイプへ変更 (2013年5月 導入完了) (3) 緑のカーテンプロジェクト ・緑化による冷房負荷軽減 (4) 製造工程での不良率低減 (5) スポットエアコンのセンサー制御 ・人感センサーで不在時に自動停止
2			
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	産業廃棄物の削減	廃油発生量を50%削減	・油分分離装置の導入 (2013年3月 導入完了)
2	蒸気配管の放熱対策	ボイラーの灯油使用量を 1,840ℓ/年削減	・断熱ジャケット(保温材)の展開 (2014年8月から計画的に実施)
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。